

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-33099
(P2003-33099A)

(43) 公開日 平成15年1月31日 (2003.1.31)

(51) Int.Cl.⁷
分類不能

識別記号

F I

テーマコード* (参考)

審査請求 有 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-246293(P2001-246293)

(22) 出願日 平成13年7月11日 (2001.7.11)

(71) 出願人 397000115

松本 鉄也

埼玉県所沢市東所沢一丁目17番地の19

(72) 発明者 松本 鐵也

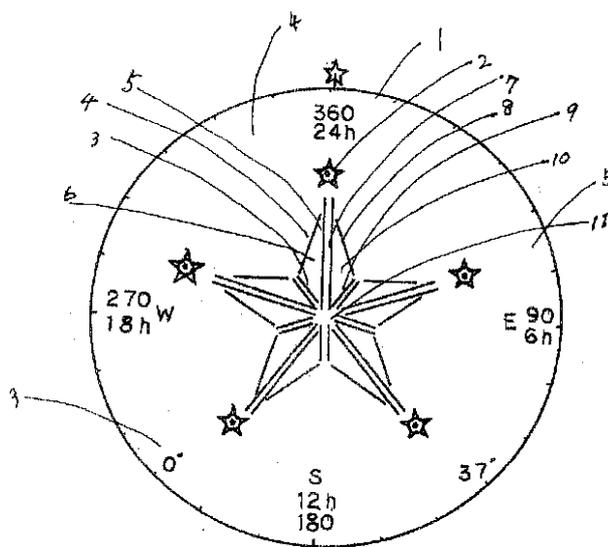
埼玉県所沢市東所沢1丁目17番地の19

(54) 【発明の名称】 自立用とする温度の思考方法

(57) 【要約】

【目的】 思考用ノート用具による実体ノート励行による自覚と皆投票率の社会と和み生き甲斐認識を温習させる自立用とする温度の思考方法を提供する。

【構成】 自立用とする温度と時刻目盛の羅針盤の思考用ノート用具(1)に図星的用ノート(2)の星形の思考用ベクトル用具(11)を設ける。実体用ノートの温度(3)、睡眠時間(4)と日出没時方位角(5)でする実態用ノート(6)を設ける、温度用ノートの風力(7)、気圧差(8)と等圧線距離(9)でする思考用ベクトル(10)を設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (イ) 自立の思考である温度と時刻目盛の羅針盤の思考用ノート用具 (1) に図星的用ノート (2) の星型の思考用ベクトル用具 (11) を設ける。 (ロ) 実体用ノートの温度 (3)、睡眠時間 (4) と日没時方位角 (5) である実態用ベクトル (6) を設ける。

(ハ) 温度用ノートの風力 (7)、気圧差 (8) と等圧線距離 (9) である思考用ベクトル (10) を設ける。以上の構成で対照と思考するものである自立用である温度の思考方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、温度を現実性ノートと思考性ベクトル化して組み合わせによる、物事思考の禍福支援について、自立性予測とする思考と認識を鍛錬と温習用具とするための自立用である温度の思考方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、物事と衣食住の生活社会における禍福を自立性意思による予測と予知 対比と応用判断と処置 決定と処分の思考と認識をする自立用自得もない、依存的因習な意思失速事情となって、投票率下落事情と自惚れ強欲で、物事倫理の良し悪し判断を対応させる思考方法の学習用具がない。自立自得の自惚れ慣習として、依存的思考と認識の方便笑い者扱いとなる、旧態依然として科学的文明の進歩性ある近代生活においてしても品格と人格を自他ともとする和みの正義である育成と啓蒙をする学習用具も見当たらない。物事として、因習と慣習 宗教と教育 余暇と災難 ゲームと品位 マスメディアと井戸端話 読書とTV 占いと不具合 十二支と失望 家相と災難 木造と火災 被災と負担 個人と国民 時大と差別 能力と依存 友人と利害 親切と干渉 科学と社会 開発と機構 買い物と支払い 雨具と天候 生活と健全らの衣食住における、三段論法的帰納と演繹らでする、思考と認識を即断と会得し兼ねる潜在性依存と慣習の知悉までは、容易な課題問題であっても、思考と認識の潜在と依存慣習では、当該応用とする判断と予知できる具体的に思考する用具がなく、自立性の即座思考を満足させる用具はない。

【0003】 当該の特殊と普遍の物事と衣食住社会においても、能力的な設問課題と潜む災難予測に対しても隗より始める差別的思考の時大的依存と賣銭的因習の社会的構図となっている、個々の意見収集ができるようするには、現実的学習する思考と認識を各々の自覚学習が第一である。図星的思考の意思で具体化の分類化から選択化と応用化できる思考と認識を学習と温習用具がないこと、本質的自立の真偽を満足させる体験学習をできる思考用具することもなく、漫然的慣習と従属化依存で騙されるて遭難被害の後悔となる、普遍的生活の物事につい

10

20

30

40

50

ての実体と事情の実態とする思考問題を自立的問題とする場合においても、社会性慣習の不安とストレスを解消用の自立性と人権享有の義務誠実を啓発する現実の用具もない。

【0004】 現実的な和みと生き甲斐性意思の思考認識を対応強化である指針基準を把握できないから温習と鍛錬する用具もないから思考の手順と方法もなく困惑のストレスと絶望する有様でもある。自立用鍛錬の思考と認識する意思能力を温習鍛錬の眼力自得をすることができる形骸的な思考の指針の強化する用具はない。

【0005】 和みと生き甲斐のある (星：勝ち負け目当て) と思考の知識と能力 応用と認識 体験と体得 比較と自得 情報と学習 分類と区分 因習と風習 お為ごかしと私欲 道徳と規範 教育と宗教などを無理強い解決しても試行錯誤を収束する難題思考となって、自分のものとする思考方法の用具はないから和み生き甲斐なければ自治である公選の投票する思考認識の愛国心を彷彿させて情熱ある参政権認識で投票所で全国民の投票の和み国政参加の意思自覚の用具もない。

【0006】 自愛の和みと生き甲斐、公選皆投票と睡眠による就労の安全効果を自立思考を温習鍛錬できるストレスでの諸トラブルを解消するリラックスの夜星を見る図星の思考用具もしない。物事と禍福の和み生き甲斐である衣食住社会の多種多用の思考工程における、思考能力の環境と因果関係をサポート思考する命題羅列において、正義と道徳因習と慣習 無知と依存 鵜とうが魚 盲目と風習 文盲と従属 事勿れと無投票 昼行灯と棄権 存在と認識 実在と思考 状況と効果 原因と結果 実態と風力 真実と実体 誠実と太陽 北極星と行方 安心と不安 真偽と温度差 虚偽と悔み 人生と死去 努力と根性 合格と失格 勝負と優劣 都合と不都合 予習と回避 食通と予知 多食と無病 安堵と心配 安全と危険 幸運と不運不幸と予知 不安と予測 災難と回避 自殺と耐える 殺人と弱さ 公害と科学災難と注意 遭難と避難 汚染と設備 被災と備蓄 天災と移住 ストレスと休息 医院と看護 病気と医者 線路と遮断バー 事故と都市構造 点検と車検残高と購買 預金と金利 借金と期限 保障と保険 パブルと破産 鵜呑みと押し切る 契約と期日 結婚と離婚 鍵と泥棒 我家と妻子 介護と体力 老人と介添え 年金と認識 病人と看護 建設と防火 舟艇と水難 航空と整備 ハイジャックと多殺 高所と墜落 仮想と結果 登山と不案内 引きこもりと不登校不必要と気力 努力と不効果 自由と礼節 平等と公平 羅列と分類 代理出産と道理 人権と差別 NGOと活動 不法と事件 迷惑とストーリー ベル友と通話料 サイト中継と情報選別 誘拐と人格 太陽発電と酸素 ポウトセルと起動 麻薬と最悪 鍵とピッキング 火災と不燃材 堅固と地震 紫外線と花粉症 温暖化と経済 氷量とCO2量 条約と不都合 特許と知的所有権 I.T.と普遍 仕事と余暇

GMと海難 水辺と水死 遊びと安全 育児と老人 盲導犬と介助犬 安全と介護 余暇と休息 任意と特殊マトリックスとパトリックス 睡眠と能力 風力と減速 詐欺と思考力 これらのリズム生活の思考依存においてしても、科学的方法の自立リズムでの生活社会を確立できる道理思考とする啓発用具もないのである。

【0007】和みと生き甲斐の自力思考の温習用具がなければならぬこと、悪癖と依存の因習と慣例を払拭解消と回避思考をするための常時簡便に具体的な鍛錬と啓発学習と育成ゲームをする思考用具はない。自立の自得と自覚なき意思では、和む生き甲斐ある平和と生活を営むことは出来るはずがない。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】自立とする思考と認識を育成自得するためのものである、温度と時刻目盛りき羅針盤の思考用ノート用具(1)に課題と判定予測をする図星的用ノート(2)と星型の思考用ベクトル用具(11)で和みの生き甲斐の思考と認識を方法である任意のベクトルの細縫りの三段六法的帰納と演繹思考とする自立用とする温度の思考方法用具である。

【0009】イ．太陽宇宙と自分との認識の実体鏡の鍛錬をするためである、温度と時刻付き用羅針盤の思考用ノート用具(1)の目的と予測の判断の図星的用ノート(2)と星型の思考用ベクトル用具(11)とする自立用とする温度の思考方法を毎朝実体用ノートとする。

ロ．物事と衣食住の社会と自立の実体を思考と認識をする目的とする、自愛の和み 生き甲斐と投票自覚の実体鏡の思考と認識させる実態用ノートである温度(3)、睡眠時間(4)、日没時方位角(5)を実態用ベクトル(6)とする実体鏡の自覚の実体の認識度合い思考値を実体用ベクトルの自覚として課題と判定予測を図星的用ノート(2)の星型の思考用ベクトル用具(11)で実体鍛錬として認識度合い値を毎日と思考毎示す。

ハ．任意の禍福思考の温度用ノートとする、風力(7)、気圧差(8)、等圧線距離(9)を思考用ベクトル(10)で予測対応と災難回避の健全と安全の思考用の細縫りの置換の帰納と演繹の三段論法とする即決の度合いとし耕地を求める、この度合い思考値の課題と判定予測の図星的用ノート(2)の星型の思考用ベクトル用具(11)で認識度合い値を示す鍛錬と温習用具である。

ニ．実体鏡の実体用ノートの実態用ベクトル(6)と任意の禍福思考の温度用ノートの思考用ベクトル(10)から星型の思考用ベクトル用具(11)で衣食住の和み生活(健全睡眠)と生き甲斐充足と公選皆投票を思考と認識させる自立用とする温度の思考方法(ソフトシステム)を提供するものである。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明は、物事と衣食住社会の生活において、課題と判断予測の思考をする設問

用の図星的用ノート(2)とする自立用思考から始まる温習と鍛錬具で、現実用の実体用ノートの温度(3)、睡眠時間(4)、日没時方位角(5)を実態用ベクトル(6)として実体用ノートの認識の思考の高揚の鍛錬と温習をすることと、温度用ノートの風力(7)、気圧差(8)、等圧線距離(9)の事情と状況を温度用思考とする符合と対応の置換思考で思考用ベクトル(10)に各々の思考値を実態用ベクトル(6)と思考用ベクトル(10)で対照と符合思考するためのノートで示し執ることとする。五芒の星型の思考用ベクトル用具(11)で複雑難題でも、自立の判断思考による図星的用ノート(2)で外側星型枠で課題と目標と中心目的で判断と決定とする決定思考の鍛錬用具である自立用とする温度の思考方法。思考と度合値は任意即座的決定語とする真偽、10、良い悪い、是非、明暗、正負とY、N、で対応する図星的用ノート(2)にノートを示すと、自立用思考の応用予知と判断と決断を示す自立用とする温度の思考方法。

【0011】当該の自立用思考とする手段の思考装置とする説明をする。

イ．図星的用ノート(2)は、物事の設問の課題と判断を左の外星形と右の中目の課題と判断ノートで示す、当該の予測と思考をするとき、実体ノートの観測を馴れ温習を執る、思考の実態ノートの観測を日毎と思考毎を実態用ベクトル(6)から対照思考して課題の左側に対応と右側に結果決定を図星的用ノート(2)に示す、思考と度合い値の任意即座に是非の実体学習の温習認識をノートで示し執れる。

ロ．当該の思考用ノートの温度(3)は気温 水温 体温の太陽 月と地球の黄道光と輻射熱である温室的平等の教育的啓発と示唆と温暖化の自覚認識を自得できるとする羅針盤の目盛を併用してノートする、睡眠時間(4)は健全の和みの就労と睡眠ノートで万病を一蹴の健全安全を促し、日没時方位角(5)は宇宙太陽の規範的方位の正確で知的品位である社会の生き甲斐の自覚とする思考用ベクトルの結果判断を図星的用ノート(2)の右側に対応学習の処置認識をノートで示し自得と納得するまで温習が執れる。

ハ．当該の実体用鏡とする左芒の星形の実態用ベクトル(6)(実測と確報励行の度合値(1.0)であるもの)と、右芒の星形の温度用ベクトル(10)とする風力(7)気圧差(8)と等圧線距離(9)を衣食と住生活に符合思考する場合において、任意の各々実情の度合の思考値(1.0とよし悪し)と衣食と住の生活の各々実体の応用思考値(1.0と是非)を対照によるシフト方法と置換ノートして五芒の星形の思考用ベクトル用具(11)の図星的用ノート(2)に自得と納得の思考と認識の温習判断をノートで示しまで執れる。

【0012】

【作用】本発明は、自立用のためであり、教え助けない

マニュアルで教導しない、旧来からの慣習因習に従属しないよう自分だけで考えて対応に勤める自立用である鍛錬と温習による思考能力を常用強化用具である。一日24時間と360度の目盛り付き羅針盤の実体用ノートでは、科学的原理を自覚と認識をするための温度(2)睡眠時間(3)日没時方位角(4)で実体用ノートすることによる実態用ベクトル(6)に実態用ベクトルの符合思考をノートで示したものと、当該の温度用ノートとする風力(7)気圧差(8)と等圧線距離(9)を観測の任意思考の符合と置換による思考用ベクトル(10)をすることによる自在的思考の三段論法的帰納と演繹と縋り紡ぐベクトルの対応思考によって五芒の星型の思考用ベクトル用具(11)で対照の思考用ノートによる度合い思考値を真偽(1.0と範囲と広さ深さと不可)と認識とする図星的用ノート(2)にノートで示すことを温習と鍛錬する自立用とする温度の思考方法(システム)。

【0013】イ. 図星的用ノート(2)では、当該の課題と判定の符合度合いで自得の課題と判断の思考用ノートするところ、自立の即座意思の図星判定の可否(1.0)の思考用ノートで示すところ。

ロ. 実体用ノートと実態用ベクトル(6)では、実体用鏡の温度(3)は平等性と平和性の普遍原理の当日の気温度を認識用ノートするところ、睡眠時間(4)は健全性安眠の励行時間ノートするところ、日没時方位角(5)は太陽宇宙の公転的生活の存在と規範と自覚用認識である当日の日没時の時刻と方位を思考用ノートをするところ。一週間以上の観測ノートの励行体験で次の思考ようベクトルにはいること。

ハ. 温度用ノートの思考用ベクトル(10)では、任意の思考符合である風力(7)気圧差(8)等圧線距離(9)を縋り紬と観測ノートと置換思考の度合い思考用ベクトル(10)による図星的用ノート(2)に思考度合い値ノートを執る。

ニ. この実態用鏡とする実体用ノートの実態用ベクトル(6)と任意の温度用ノートの温度用ベクトル(10)から黄金比の星形の思考用ベクトル用具(11)でその都度の置換対照することによる図星的用ノートに結果思考値ノートを示すことができる。

ホ. 当該の課題が多岐煩雑であっても、自立性を育み啓発するには、原理と実体を観測と予測思考ノートによる当該の目的と課題の対応と判断の思考を温習の幾度でも繰り返すことで容易く課題を図星の黄金比用のベクトル化で解決できるようにした自立用とする温度の思考方法を提供するものである。

【0014】

【実施】当該の物事である衣食住社会の日常の衣食と住の場合について、利用実施の方法を説明する。

第1(衣の場合)工程 当該の実体ノートを温習励行のためとして、衣服について、持ち服と四季流行の事情を思考をするに、購買店と購入金による購入意思の希望を

10

20

30

40

50

当日観測で温度(3)は28の望天は晴れで是、睡眠時間(4)は23時から翌日6時の7時間で睡眠ノート充足でOK、日没時方位角(5)の確報で日出4時25分と日没19時10分の方は日出63度日入り297で是である、実態用ノート(6)を置換と対照思考による実態用ベクトル(6)として思考度合い値(1.0と是非)の是を示しノートで執る、任意の実体とする観測の風力(7)はカームで是、気圧差(8)は天気図確報で非と、等圧線距離(9)は新聞の天気図の確報観測とするも穏やかで是、温度用ノートによるから温度用ベクトル(10)から五芒の星形用ベクトル用具(11)の図星的用ノート(2)の思考判定はブランド物でないから是の購入意思が適当と示しノートで買いを執る、自愛の自得と意思の自立による思考と認識をする鍛錬と温習の予行演習である自立用とする温度の思考方法。

第2(食の場合)工程 当該の実体ノートを温習励行のためとして、食事について、大衆レストランの価格安と旬料理大勢員数の事情を思考すると、飲食店ウィンドーの価格で入店意思を決める、当日観測で温度(3)は外気は32で店内冷房で是、睡眠時間(4)は23時から翌日8時の9時間の熟睡でOK、日没時方位角(5)の確報で日出4時25分と日没19時12分の方は日出64度日入り296で是である、実体用ノートを置換思考による実態用ベクトル(6)として思考度合い値(1.0と是非)の是を示しノートで執る、任意の実体とする観測の晴天で風力(7)は是、気圧差(8)は非と等圧線距離(9)は新聞の天気図を確報観測とする温度用ノートによるから温度用ベクトル(10)から五芒の星形用ベクトル(11)の図星的用ノート(2)の思考判定は割安食の健康食であるから是の飲食意思でOKを示しノートで直感で執る、自愛の自得と意思の自立による思考と認識をする鍛錬と温習の予行演習である自立用とする温度の思考方法。

第3(住の場合)工程 当該の実体ノートを温習励行のためととり、不動産購入について、立地と駅徒歩圏である事情を思考をするに、購売店と購入資金による購入意思の希望を当日観測で温度(3)は28の望天曇りでさわやか風でOK、睡眠時間(4)は22時から翌日6時の8時間でOK、日没時方位角(5)の確報で日出4時25分と日没19時12分の方は日出63度日入り297でOKである、当該の実体ノートを温習のためとして、居住について、駅徒歩圏内の居所と建物環境の事情を思考をする、将来性ある居住の建物の販売店と購入資金による購入意思の希望を当日観測で温度(3)は是、睡眠時間(4)はOK日没時方位角(5)の確報で非である実体用ノートを置換思考による実態用ベクトル(6)として思考度合い値(1.0と是非)の是を示しノートで執る、任意の温度ノートとする観測から風力(7)は是、気圧差(8)は非と等圧線距離(9)は

新聞の天気図を確報観測とするのでOKなので、思考用ベクトル(10)から五芒の星形の思考用ベクトル(11)の図星的用ノート(2)の思考判定は不燃建築でないから非の購入物件でない意思の不適當を示しノートで執る、購入契約せずに再思考の件とする、自愛の自得と意思の自立による思考と認識をする鍛錬と温習の熟考の予知ありとする判定の予行演習である自立用とする温度の思考方法。

【0015】

【発明の効果】当該による実体用ノートと思考用ベクトル用具の思考効果は、事故不注意の悪事と自殺減少、落ち込み、塞がり、引きこもりを無くし和み明るく生活実体の自覚と認識ある幸福社会をもたらす。和み生き甲斐を思考と認識で自由平等が育成と啓発されて、奉仕自覚と認識義務から就学と皆投票社会になる。当該の思考用ベクトル方法だから凡慮思考にも容易く思考と認識から予知の判別の利用具方法に惑うことがない。和み生き甲斐の認識と思考だけでなく、自覚ある自信となって、知*

* 識と社会抱負の高揚心と投票自負と品位啓発の育成とソフト化効果に寄与できるものとして提供するものである。当該の活用として、コンピューターソフト、カレンダー、コップと食器用などに利用ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の正面図

【符号の説明】

- 1 思考用ノート用具
- 2 図星的用ノート
- 3 温度
- 4 睡眠時間
- 5 日出没時方位角
- 6 実態用ノート
- 7 風力
- 8 気圧差
- 9 等圧線距離
- 10 思考用ベクトル
- 11 星形の思考用ベクトル用具

【図1】

